

マーケットの動き（2024年8月5日～8月9日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円でほぼ横ばいでした。
週初は2日発表の7月の米国雇用統計の下振れを受け、米国の利下げ観測の強まりや世界的な株安を背景に円買い・米ドル売りが広がり円高が進行しましたが、日銀副総裁の発言から日銀による追加利上げ観測が後退し円売り・米ドル買いが優勢となりました。
ユーロは前週末比、対円・対米ドルでほぼ横ばいでした。

投資環境見通し（2024年8月）

円に対して米ドルはレンジ内での動き、ユーロは次第に底堅い動き

米ドル：FRB（米国連邦準備制度理事会）による早期の利下げ観測や日銀による追加利上げ観測から円高方向が意識されやすい状況ですが、実質金利差を背景とした円安圧力に加えて、米国大統領選挙を控えて次期政権下での経済政策が注目される中、ドルは円に対してレンジ内での動きになるとみています。
ユーロ：域内景気が下振れするとの見方がユーロ安圧力とみられますが、実質金利差を背景とした円安圧力を背景に、ユーロは円に対して次第に底堅く推移するとみています。

	8月9日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	146.59	▲0.07	▲14.79	▲2.73	2.88
ユーロ/円	160.12	▲0.07	▲14.42	▲0.95	2.28

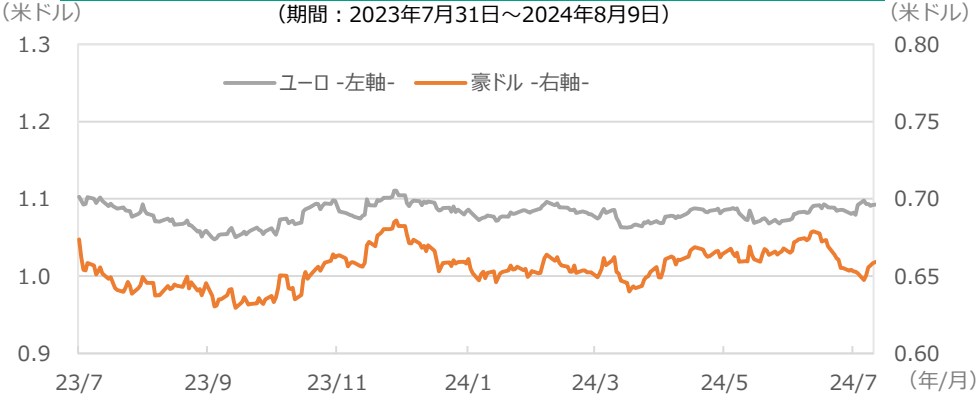
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202408_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>